



前期学校評価について（報告）

東新潟中学校では、教育目標「たくましく生きる生徒」の育成を目指し、「確かな学力の向上」「社会性の育成」「家庭学習の習慣化」を教育課題として日々取り組んでいます。

7月に行った生徒と保護者とのアンケート集計結果がまとまり、全職員で共通理解を図りました。

また、数値結果が不十分であった項目や昨年と比べて数値が下がった項目については改善点を明らかにして、今後の教育活動を進めていきます。

ご家庭におかれましても、ご理解とご協力をお願いいたします。

1. 確かな学力の向上

1	普段の授業では、学習課題が示されている。		1年生	2年生	3年生	全体	評価
	「あてはまる」「ややあてはまる」 【評価基準】	R4	98%	97%	98%	97%	A
		R3	96%	99%	98%	98%	A
	A：95%以上 C：90%以下		R2	95%	98%	98%	97%
2	普段の授業では、最後に学習内容を振り返る活動を行っている。		1年生	2年生	3年生	全体	評価
	「あてはまる」「ややあてはまる」 【評価基準】	R4	81%	68%	78%	75%	C
		R3	73%	74%	86%	78%	B
	A：80%以上 C：75%以下		R2	69%	65%	69%	67%
3	国語・社会・数学・理科・英語の授業はよく分かります。 (5教科の平均)		1年生	2年生	3年生	全体	評価
	「あてはまる」「ややあてはまる」 【評価基準】	R4	89%	80%	92%	87%	B
		R3	83%	88%	87%	86%	B
	A：90%以上 C：85%以下		R2	91%	84%	83%	87%
4	授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ。		1年生	2年生	3年生	全体	評価
	「あてはまる」「ややあてはまる」 【評価基準】	R4	88%	84%	93%	88%	B
		R3	90%	83%	84%	86%	B
	A：90%以上 C：85%以下		R2	84%	88%	78%	84%

【結果から】

「学習課題の提示」は、ここ数年高評価である。「振り返りの活動」は、2年生での評価が低い（昨年よりも更に5%低下）。「5教科の授業が分かる」は、1年生と3年生が高評価である。全学年90%を目指していきたい。「課題の解決に向けて、自分で考え、取り組んだ」は、少しずつではあるが向上している。

【今後の方策】

- 授業での「学習課題」と「まとめ」が一体化した授業に引き続き重点を置く。加えて、「何を学んだのか」や「何が身に付いたのか」など、学習内容の振り返りに重点を置くことで、一人一人の学びを深めていく。
- ICTの利用や対話的な活動を積極的に取り入れることで、学習効果を高め、生徒が「分かる」や「できる」を実感できる授業づくりに努める。

2. 社会性の育成

1	学習や生活のめあてをもって、毎日をご過ごしています。		1年生	2年生	3年生	全体	評価
	「あてはまる」「ややあてはまる」	R4	78%	70%	75%	74%	B
	【評価基準】	R3	74%	77%	72%	74%	B
	A：75%以上 C：70%以下	R2	80%	81%	58%	74%	B
2	自分にはよいところがあります。		1年生	2年生	3年生	全体	評価
	「あてはまる」「ややあてはまる」	R4	80%	64%	78%	74%	C
	【評価基準】	R3	68%	77%	81%	75%	B
	A：80以上 C：75%以下	R2	76%	80%	72%	76%	B
3	やっていることを先生や友達に認められて、うれしいと感じることがよくあります。		1年生	2年生	3年生	全体	評価
	「あてはまる」「ややあてはまる」	R4	90%	83%	91%	88%	B
	【評価基準】	R3	85%	85%	89%	87%	B
	A：90%以上 C：85%以下	R2	89%	85%	83%	86%	B
4	学校生活で、友達と力を合わせて学習したり、活動したりしています。		1年生	2年生	3年生	全体	評価
	「あてはまる」「ややあてはまる」	R4	86%	69%	78%	78%	B
	【評価基準】	R3	69%	81%	68%	72%	C
	A：80%以上 C：75%以下	R2	78%	70%	54%	68%	C

【結果から】

どの項目も例年と同程度の評価になっている。「友達と力を合わせて学習したり、活動したりしている」は、授業や学校行事などで他との関わりを通して、互いに良好な関係が築かれていると考える。また、「やっていることを認められてうれしい」は、授業における対話的な学びの中で多様な考えに触れる機会が増えていることで、互いに認め合い高まろうとする風土が育ってきていると考える。

【今後の方策】

- キャリアノートを活用し、なりたい自分の姿を具体的にイメージし、目標や見通しをもって活動に取り組めるよう様々な場面で指導を行う。
- それぞれの活動において、生徒に付けさせたい力を具体化し、成長した点やよいところを賞賛することで、達成感や自己有用感を高めていく。

3. 家庭学習の習慣化

1	宿題をきちんとやっています。		1年生	2年生	3年生	全体	評価
	「あてはまる」「ややあてはまる」	R4	97%	85%	92%	92%	B
	【評価基準】	R3	93%	90%	94%	92%	B
	A：95%以上 C：90%以下	R2	93%	91%	88%	91%	B
2	宿題以外にも自主的に家で勉強しています。		1年生	2年生	3年生	全体	評価
	「あてはまる」「ややあてはまる」	R4	80%	66%	82%	76%	B
	【評価基準】	R3	78%	74%	80%	77%	B
	A：80%以上 C：75%以下	R2	83%	69%	66%	73%	C
3	平日、家では、1日にどれくらい勉強していますか。（塾などの学習はふくめ、習いごとのはのぞく）		1年生	2年生	3年生	全体	評価
	「1時間以上」	R4	70%	53%	62%	61%	C
	【評価基準】	R3	72%	60%	73%	69%	B
	A：70%以上 C：65%以下	R2	73%	52%	65%	62%	C
4	東新タイムで立てた学習計画に家庭で取り組んでいます。		1年生	2年生	3年生	全体	評価
	「できている」「まあまあできている」	R4	86%	69%	82%	78%	B
	【評価基準】	R3	69%	81%	68%	72%	C
	A：80%以上 C：75%以下	R2	78%	70%	54%	68%	C

【結果から】

「宿題をきちんとやっている」や「宿題以外にも自主的に勉強する」は、例年と同程度であるが、2年生での低下が見られる。「平日60分以上勉強する」は、大きく下がった（2時間以上はほぼ毎年13%）。学年が上がるにつれて家庭学習時間が増加する傾向が望ましい。「東新タイムで立てた学習計画に家庭で取り組んでいる」は、年々上昇し取組が定着してきていると思われる。

【今後の方策】

- 家庭学習は宿題を行うための時間だけではなく、学習の定着を図り発展的な内容に取り組むための時間として大切であることを改めて指導していく。
- 終学活後の「東新タイム」（5分）を継続して行い、次の2点を指導する。
 - ① 生徒が自分で家庭学習の予定を立て、その日の家庭学習開始時間を設定する。
 - ② 宿題以外の自学の計画を立て、見通しをもって学習の積み重ねを図る。



<保護者アンケート> 令和4年7月実施

保護者アンケートにご協力をいただきありがとうございます。回答数310名と多くの方々からご回答をいただきました。みなさまからいただいたアンケート結果およびご意見を全職員で受け止め、今後の教育活動に生かすとともに、生徒たちの成長を支えて参ります。今後も当校の教育活動にご協力とご支援を賜りますようお願いいたします。なお、紙面の都合上、全ての結果を載せることができませんでした。

